

RiPPo 幹事ご紹介



幹事 馬谷泰英 (4期生)

4期生の馬谷です。
校友会の皆様が、当時を振り返り、また明日
からの元気が涌いてくるような校友会の活動
ができるよう頑張っていきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



幹事 新村拓生 (4期生)

4期生の新村です。
先輩方とともに素敵な校友会を目指して
頑張っていきたいと思います。
よろしくお願ひします。

長濱人語

前回のこのコーナーが大好評につき二回目です。また、しばしお付き合い下さい。
さて、ライバルといえばいろいろと考えられますね。例えば、巨人と阪神は伝統の一戦といわれ大いに盛り上がります。古今東西でも国家や企業、スポーツチームなど様々あり皆さん自身も学生時代や今現在思いあたる方がいるかもしれません。そこで今回はこの二人を取り上げたいと思います。それは伊達政宗と真田幸村です。普通ライバルといえば、力関係がほぼ同じで切磋琢磨しながら互いを認めあう存在ですが、領地や官職などの点から考えれば伊達政宗の方が圧倒的に勝っています。政宗は最終的に陸奥仙台藩63万石(将軍家を除いて3番目の石高)の藩主となり、幸村は浪人として大阪の陣に参加し討死して生涯を終えました。実はこの2人同い年です。政宗は18歳で家督を相続し以降、人取り橋の戦いや摺上原の戦いなどに勝利し福島県中通り・会津・山形県南部・宮城県中南部を支配下に置きました。しかし、当時の情勢は豊臣秀吉の勢いが目覚ましく結局政宗は秀吉に臣従する道を選びました。この時政宗は23歳です。では、幸村はどうだったのでしょうか。真田家はもともと信濃(長野県)の小さい領主に過ぎませんでした。幸村の祖父の代に武田家に服属し、その後時代の流れとともに織田、北条、徳川、上杉、豊臣と主君を変えています。この時期は父昌幸の代ですが、当時は小さい勢力が生き残るために珍しいことではありませんでした。幸村はこの時期上杉家と豊臣家で人質として過ごしていました。政宗と比べて派手な活躍は一切ありません。そんな2人が交わるのは大阪夏の陣まで待たねばなりません。月日は流れ2人は49歳となっています。道明寺の戦いにおいて真田隊は伊達隊の先鋒を一時的に退却させました。ここで初めて両者は戦いました。あくまでも局地戦であり正面から戦ったわけではありません。この戦いにおいて豊臣軍の有能な武将が討死し、最後は幸村が徳川家康の本陣へ突撃し大阪夏の陣は幕を閉じます。この2人には生まれてから死ぬまで大きな差がありました。なので幸村の方が政宗を一方的にライバル視して、政宗はなんとも思っていないというのが真相かもしれませんね。

最近ライバルといえば、私は乃木坂46に注目しています。AKB48の公式ライバルです。乃木坂48ではなく乃木坂46なので皆さん要注意ですよ。5月に発売したシングル「おいでシャンプー」が週間ランキング1位をとりました。これからもこの勢いのまま突っ走っていくでしょう。ちなみに推しメンですが1人を選べませんでした。なんて罪なグループなんでしょう。

次回以降、決めたら発表するかもしれません。ではまた。



始めました。 「@nagahamajingo」 皆様のフォローお待ちしています。

北村篤司のお仕事探訪

今年開業し、高さ634mと言えば…そう東京スカイツリーです。では、その最頂部には何があるかご存知ですか…？
今回の「お仕事探訪」は東京スカイツリー最頂部と密接に関係する企業にお勤めの方ですよ。現在、日立電線株式会社にお勤めの1期生の柴村一平さんは、企業法務担当職員として日々活躍されています。大学時代は法学部に在籍されていた柴村さんにとって、自分の専門分野を生かした担当業務ということで充実した仕事をされているのではないかと筆者は考えていましたが、そう単純なものではないようです。事業を実際に企画立案しているわけではないにもかかわらず、契約書などの最終審査をしているため、あたかも最終決定者=責任者のような扱いを受けることで、事業部門の「リスクヘッジ」に使われることに慣れを感じると柴村さんは言います。反面、業務上各部門と関わることが非常に多く、連携を図りながら仕事を進めることにやりがいを感じているとも柴村さんは言います。そんな柴村さんが真骨頂を発揮したのは子会社の再編業務です。再編計画の中心メンバーとして、単純に法律に則り再編を進めるのではなく、業務の実態にうまく適合するように再編計画を練り上げたところ、実際に計画通り再編がやり遂げられたそうです。それは柴村さんが日々の業務で非常に多くの部門と連携を図り、よく実情を理解しているからこそ完遂ではないかと筆者は思います。

そんな偉人柴村さんですが職場がAKB劇場から徒歩3分という立地から日々劇場に足を運び推しメンの“まゆゆ”を応援しているらしいですよ！！皆さんも秋葉原に行った際には柴村さんの予定をフライングゲットして是非劇場に行ってみてはいかがでしょうか？

では、今回はこの辺で失礼いたします。



第2回 総会のご案内

2012年9月15日（土）

第1部 第2回総会 午後3時～
第2部 懇親会 午後4時～

※総会に先立ち、午後12時30分より在学生向けの「OB・OGキャリア相談会・交流ゼミ」を実施します。
修了生の方で、在学生の進路相談（個別相談中心です）に協力いただける方は、校友会事務局
(ml-rippo@ml.ritsumei.ac.jp)までご連絡ください。

終身会費納入のお願い

終身会費の納入はインターネットでの振込が便利です。

校友会の各事業は、会員の皆様からの終身会費（10,000円）によって支えられています。
校友会活動を安定的に展開、発展させていくために、終身会費の納入にご協力ください。

【振込先】

京都銀行 二条駅前支店 普通預金 1024124

口座名義 立命館大学公務研究科校友会 事務幹事 高見澤篤

- ・お振込の際、振込人氏名の前に入学年度を西暦でつけてください。（例：2007コウム タロウ）
- ・振込手数料はご負担ください。

なお、納入いただいた方には記念品をお送りしております。

ml-rippo@ml.ritsumei.ac.jpまでご一報ください。

※インターネットでの振込みには、口座を開設している銀行に「インターネットバンキング」の申込が必要です。
申込は各銀行のホームページから可能です。

編集後記

梅雨も明け、本格的な夏を迎えたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。
皆様のご協力のもと、公務研究科校友会第2号会報を発行することができました。会報を通じて、
公務研究科での学生生活を懐かしんで笑顔になっていただければ幸いです。昨年度は発足1年目
ということもあります、至らない部分がたくさんあったかと思います。今年度はさらにパワーアップ
した校友会となれるよう、幹事一同頑張ってまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力を
お願いいたします。

公務研究科 3期生 野村美紀